

2022年度

事業報告書

2022(令和4)年4月1日



2023(令和5)年3月31日

2022年度事業報告について

第一部 西南女学院の概要

1. 法人の概要	…	3
2. 設置する学校の概要及び教育目的	…	3
3. 主要行事	…	5
4. 宗教教育活動	…	6
5. 学生・生徒・園児	…	13
(1) 志願者数 (2) 在籍者数 (3) 卒業生数		
6. 教職員組織	…	15
(1) 教職員数 (2) 組織図		
7. 役員	…	20
8. 評議員	…	21
9. 理事会議案及び決議	…	22

第二部 事業の概要・財務の概要

1. 事業及び決算の概要	…	25
2. 財務の概要(2022年度予算の主な執行状況)	…	27
(1) 資金収支計算 (2) 事業活動収支 (3) 貸借対照表		
(4) 学生数・財務比率などの推移		

学校法人西南女学院

2022年度事業報告について

2023年5月

学校法人西南女学院

理事長 向 雅彦

西南女学院は、1899年から20年間にわたり熊本で宣教活動を行った米国南部バプテスト海外伝道局宣教師L.D.クラーク師の祈り「日本婦人に教育と伝道を」を継承し1922年4月、J.H.ロウ宣教師によって「キリスト教に基づく女子教育を行うこと。」を目的として創立され、最初の入学式は4月18日に行われました。以後その日を創立記念日として迎えております。この度は新型コロナウイルス感染症により、会場の変更や参加者の制限など大幅に規模の縮小を余儀なくされましたが、学生・生徒・園児の皆様をはじめ関係の方々とご一緒に10月18日にお祝いすることができましたこと、衷心より感謝申しあげる次第でございます。

2022年度の事業につきましては、教育研究における重点分野及び学生生徒の人員等について計画に沿って実施してまいりました。合わせて、感染症対策にも注力いたし、学生・生徒・園児、教職員及び関係者の安全を最優先とした上での教育と運営を行い、関係の皆様には、ご理解とご協力を賜りこの1年間の学修・事業を立派に果たしていただきました。本学院に集う皆様のお働きを誇りに思う次第でございます。

2022年度の決算につきましては、本報告書の「第二部 事業の概要・財務の概要」において詳細をご報告申しあげておりますのでご高覧ください。

西南女学院といたしましては、今日の就学事情や社会の構造的な変化に伴い、経営の安定化について意識を強く持ち学校経営を行うものとして、教育の質保証、経営基盤の安定、地域社会との共生の三つを柱とした「学校法人西南女学院中期計画（2022-2026）Mission 要」を策定いたしております。本年度末には、2023年度の第2期目に向けた見直しを行いました。西南女学院の使命と目的の達成のためにこの計画を遂行していく所存でございますので、ご協力並びにご指導賜りますようお願い申し上げます。また、当法人が主体性を重んじ公共性を高める自律的なガバナンスを確保していくことを社会に表明するために「西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部ガバナンスコード」を策定・公表いたしました。

これからも主のご恩寵に感謝し、西南女学院でなければならない特色ある女子教育の実践として、教育の質の向上、環境の整備、一人ひとりを大切にする教育を旨として101年目を迎える所存でございます。関係の皆様には、今後ともご後援賜りますようお願い申しあげ、2022年度の事業報告とさせていただきます。

第一部

西南女学院の概要

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

「感恩奉仕」

神さまをはっきりと心に宿せば宿すほど、私たちの心に“有難い”という感じが湧いてきます。家族がどれほど有難いものか、この世界に生まれたことがどれほど有難いものかがよく解ってきます。“有難い”との感が起こると、進んで親のために兄弟のために又は社会のために小さい事でも出来る限り働いて差し上げようとの感じが起こってきます。この“有難い”という気持ちを西南女学院では『感恩』といい、他者のために働く事を『奉仕』といいます。

この理念は、学生・生徒・園児の教育理念であると同時に、西南女学院の教育活動に参画している全ての職員の職務理念であります。

西南女学院は、キリスト教に基づく使命感、優れた教養と知識と技能をあわせもつ女性を育成するために、各学校の一層の充実を図りながら総合的な学園として発展し続けています。

(2) 沿革

1922(大正11)年	西南女学院設立(5年制高等女学校)
1938(昭和13)年	財団法人西南女学院設立
1946(昭和21)年	西南女学院専門学校設置(英語科・生活科)
1947(昭和22)年	学制改革により西南女学院中学校設置
1948(昭和23)年	学制改革により西南女学院高等学校設置
1950(昭和25)年	西南女学院短期大学設置(英語科・家政科)
1951(昭和26)年	学校法人西南女学院設立
1952(昭和27)年	西南女学院幼稚園設置
1958(昭和33)年	西南女学院短期大学保育科設置
1971(昭和46)年	西南女学院短期大学食物栄養科設置
1994(平成6)年	西南女学院大学保健福祉学部設置
2002(平成14)年	西南女学院大学保健福祉学部栄養学科設置(短期大学食物栄養学科を改組)
2002(平成14)年	西南女学院大学人文学部人文学科設置(短期大学英語科を改組)
2002(平成14)年	西南女学院短期大学家政科を生活創造学科に名称変更
2003(平成15)年	西南女学院短期大学英語科、食物栄養科廃止
2004(平成16)年	西南女学院短期大学を西南女学院大学短期大学部に名称変更
2004(平成16)年	西南女学院短期大学附属シオン山幼稚園を西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園に名称変更
2006(平成18)年	西南女学院大学人文学部英語学科及び観光文化学科設置(人文学部人文学科を改組)
2008(平成20)年	西南女学院大学助産別科開設
2018(平成30)年	西南女学院大学短期大学部生活創造学科廃止
2022(令和4)年	西南女学院創立100周年記念式典挙行

2. 設置する学校の概要及び教育目的

※括弧内の数字は2022年度収容定員

(1) 西南女学院大学

西南女学院大学は、教育基本法及び学校教育法に則り、キリスト教を教育の基盤として、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究するとともに、豊かな人間性を涵養し、もって人類の福祉と文化の発展とに貢献する有為の人物を育成することを目的としています。

□ 保健福祉学部

保健福祉学部は、豊かな教養と倫理観を培い、看護、福祉、栄養の知識と技術を教授し、専門職者としての実践力と協働力を育むとともに、平和を愛するグローバルな視野をもって人々の幸福、地域と社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的としています。

■ 看護学科(360)

看護学科は、看護に関する専門的知識、技術を修得し、看護実践者として、保健、医療、福祉、教育等の幅広い分野で地域や社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 福祉学科(320)

福祉学科は、ヒューマンサービスの専門職に必要な知識・技術を修得し、想像力と創造力をもって、福祉、教育、保育等の幅広い分野で地域や社会に広く貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 栄養学科(400)

栄養学科は、「人」と「食」の両面より、栄養に関する専門的な知識・技術を総合的に理解・修得し、保健、医療、福祉などの幅広い分野において、人々の健康の保持増進、疾病の予防・治療に貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 人文学部

人文学部は、豊かな人間性を養い、礼節を身につけ、専門的能力をもってグローバル化、情報化が進む国際社会及び地域社会において主体的に活動し、貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 英語学科(240)

英語学科は、異文化理解を踏まえた英語によるグローバル・コミュニケーション能力をもち、国際的視野と地域的視野に立って思考し、自主的に行動できる有能な人材を育成することを目的としています。

- 観光文化学科(240)

観光文化学科は、語学力を基礎として、グローバル化する社会において、自らを客観的に認識する視点をもち、異文化理解、国際社会理解ができ、ツーリズムと地域の発展に貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 助産別科(16)

助産別科は、助産の対象である女性、乳幼児及びその家族を全人的に理解するとともに、助産の知識と実践力を有し、専門職として自立した助産師を育成することを目的としています。

(2) 西南女学院大学短期大学部

西南女学院大学短期大学部は、キリスト教を教育の基本として女子に高い教養を授けるとともに生活に必要な専門の教育を施し、よき社会人を育成することを目的としています。

- 保育科(200)

保育科は、豊かな教養と専門知識をもって、自ら思考し判断できる保育の専門家を育成することを目的としています。

(3) 西南女学院高等学校 全日制課程 普通科(480)

西南女学院高等学校は、キリスト教に基づき女子の人格完成を旨とし、教育基本法、学校教育法及びその他の教育に関する法令により高等普通教育を行うことを目的としています。また、入学者のうち西南女学院中学校を卒業した者に対して、その中学校における教育とあわせた中高一貫教育（併設型高等学校）を行います。

(4) 西南女学院中学校(240)

西南女学院中学校は、キリスト教に基づき心身の発達に応じて、女子の人格を養成することを旨とし、教育諸法令に則り、西南女学院高等学校における教育を合わせた、中高一貫教育（併設型中学校）を行うことを目的としています。

(5) 西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園(180)

西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園は、教育基本法、学校教育法並びに幼稚園教育要領に基づき学齢未満の幼児を、キリスト教精神をもって保育し、適当な環境を与えてその心身の発達を助長することを目的としています。あわせて、西南女学院大学短期大学部の附属施設として、幼児教育に関する研究並びに保育科学生の実習機関としての役割を果たしています。

3. 主要行事 2022(令和4)4.1~2023(令和5)3.31

- | | |
|---|--|
| <p>4.1 辞令交付
 新任職員オリエンテーション
 新任職員オリエンテーション聖書学課</p> <p>2 大学・短期大学部入学式</p> <p>6 短期大学部前期授業開始
 中学・高校始業式</p> <p>7 中学入学式
 高校入学進級式
 幼稚園始園式</p> <p>8 大学前期授業開始</p> <p>13 幼稚園入園式</p> <p>18 創立100周年記念式典(10月延期)
 創立100周年記念祈祷会</p> <p>21 第1回学院聖書学課</p> <p>5.11 短期大学部ミッションデー</p> <p>12 大学ミッションデー</p> <p>18 短期大学部ミッションデー</p> <p>19 大学ミッションデー</p> <p>20 墓前祈祷会</p> <p>25 常任理事会、理事会、評議員会</p> <p>6.2 中学・高校ミッションマンス①</p> <p>4 文化祭</p> <p>9 中学・高校ミッションマンス②</p> <p>15 大学・短期大学部入学者選抜説明会</p> <p>16 中学・高校ミッションマンス③</p> <p>25 大学・短期大学部オープンキャンパス(オンライン)</p> <p>7.10 大学・短期大学部オープンキャンパス(来場型)</p> <p>20 中学・高校終業式
 幼稚園終園式</p> <p>21 第2回学院聖書学課</p> <p>8.1 辞令交付</p> <p>2 職員研修会(幼稚園)</p> <p>19 職員研修会(中学・高校)</p> <p>20 大学・短期大学部オープンキャンパス(来場型)</p> <p>21 大学・短期大学部オープンキャンパス(来場型)</p> <p>22 中学・高校始業式</p> <p>25 幼稚園始園式</p> <p>27 高校オープンスクール</p> <p>9.16 常任理事会、評議員会、理事会</p> <p>17 中学・高校オープンスクール</p> <p>22 大学前期末卒業式</p> <p>26 大学・短期大学部後期授業開始</p> <p>10.8 高校オープンスクール</p> <p>13 中学・高校ミッションウイーク①</p> <p>14 中学・高校ミッションウイーク②</p> <p>15 中学・高校ミッションウイーク③
 大学祭</p> <p>18 創立100周年記念式典</p> <p>20 第3回学院聖書学課</p> <p>22 大学・短期大学部総合型選抜、助産別科推薦選抜、
 短期大学部特待生選抜
 幼稚園運動会</p> | <p>11.2 辞令交付</p> <p>3 同窓会総会</p> <p>5 中学・高校オープンスクール</p> <p>9 短期大学部ミッションデー</p> <p>10 大学ミッションデー</p> <p>16 短期大学部ミッションデー</p> <p>17 大学ミッションデー
 中学・高校クリスマスツリー点灯式</p> <p>18 大学公募等推薦選抜、社会人・外国人留学生選抜</p> <p>19 大学指定校・併設校推薦選抜
 短期大学部学校推薦型選抜、社会人・外国人留学生選抜</p> <p>25 常任理事会</p> <p>12.1 第4回学院聖書学課
 大学・短大クリスマスイルミネーション点灯式</p> <p>3 幼稚園クリスマス礼拝
 創立100周年記念コンサート</p> <p>10 大学・短期大学部公募推薦選抜②、総合型選抜②、
 大学編入学選抜</p> <p>14 常任理事会、理事会</p> <p>15 創立100周年記念クリスマス礼拝(中高、大短合同)
 幼稚園クリスマス祝会</p> <p>22 中学・高校終業式</p> <p>23 幼稚園終園式</p> <p>26 大学・短期大学部冬期休業(1月4日迄)</p> <p>1.4 中学前期入学試験</p> <p>5 大学・短期大学部後期授業再開</p> <p>10 幼稚園始園式
 中学・高校始業式</p> <p>20 高校推薦入学試験</p> <p>31 大学・短期大学部一般選抜(前期)</p> <p>2.2 高校一般入学試験</p> <p>10 幼稚園生活発表会</p> <p>11 中学校後期入学試験</p> <p>16 第5回学院聖書学課</p> <p>3.1 中学・高校卒業式</p> <p>2 大学・短期大学部一般選抜(後期)
 短期大学部社会人選抜(後期)</p> <p>11 幼稚園卒園式</p> <p>15 常任理事会</p> <p>20 大学・短期大学部卒業証書・学位記授与式
 中学・高校終業式</p> <p>22 理事会、評議員会</p> <p>24 幼稚園終園式</p> <p>25 大学・短期大学部春のオープンキャンパス</p> |
|---|--|

4. 宗教教育活動 (2022年度学院宗教委員会報告より抜粋) 現状と展望

(1) 全体的総括と展望

2022年度は、ローマの信徒への手紙5章5節 a 「希望は私たちが欺くことはありません。」が年間聖句に選ばれ、年間主題は「希望によって歩む」であった。

今年度は、創立100周年の年であり、今までの歩みを主なる神様に感謝し、あらゆる歩みにおいて神に立ち返り、新しい時代について祈る一年を過ごすこととなった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響が収まらない年度の幕開けであり、4月18日の創立記念式典は半年後に延期を余儀なくされた。そのような流れの中、4月18日当日には、100年の歩みを感謝し祈りと賛美をささげる「西南女学院祈祷会」を開催し、今までの歩みに対する神様への祈りと賛美の時間が守られ、感謝なひと時を過ごすことが叶った。この祈祷会が中・高会議室を会場に、この後も継続して行われたことも感謝であった。

2月にはロシアによるウクライナ侵攻という、世界を揺るがす危機の訪れとともに、今までよりも一層「感恩奉仕」の実践が叫ばれる一年となった。

大学・短期大学部では、4月から2名のウクライナから避難してきた学生を受け入れ、今までにない状況への対応に多くの教職員が共に力を合わせ、懸命にサポートを行った。このサポートは、ウクライナ学生が本学で学びを続ける限り、継続していく予定である。

中学校・高等学校においては、感染防止を徹底したうえでサマーキャンプを実施することができたが、他の行事は断念せざるを得ない状況であった。教会出席についても、積極的に勧めることができない期間を強いられたが、感染がやや落ち着いた2学期のみ奨励し、皆勤者の表彰も実施できた。

幼稚園においては、前年度同様に保護者に理解と協力を得ながらの行事の実施に取り組む一年であった。

キリスト教センター発行の機関紙「キリスト教センターだより」は、今年度100周年特集を盛り込み、3回発行することができた。「西南女学院全体の情報のコミュニティー」という当初の発刊目的に沿い、幼稚園から大学までの様々な建学の精神につながる学生・生徒・園児や教職員の生の声が記事としてまとめられ、神様からの祝福を、学院全体で共有することができたことを喜びたい。

戦争のニュースが飛び交う中、精神的にも不安の中に置かれた一年であったが、年間主題のとおり「希望によって歩む」ことを第一とし、各校のチャペルや教職員の礼拝、また祈祷会では日々神の御言葉に聞き養われ、力をいただく一年となった。創立100周年記念の年として、様々な記念行事等が執り行われたが、それらの準備等にあたり教職員の献身的な働きとチームワーク構築の中に神様が共におられること、そして建学の精神が脈々と流れていたことを感じる一年でもあった。新しく踏み出す100年も、創立者の宣教師の方々の思いを受け継ぎ、神の御心を第一とし、人間の思いによらず、神の御声に聴き従いながら歩む歴史を築いていくことが求められている。

(2) 活動の概括

1. 教職員対象の主な行事

●創立記念日当日(2022年4月18日)には、マロリーホールにて「西南女学院祈祷会」がもたれ、学内の教職員の他、同窓会や近隣の諸教会の方々が(オンラインも含めて)集い、共に祈りを合わせた。関連して、例年法人本部主催で行っている創立記念式典は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となり、半年後の10月18日に、北九州ソレイユホールにて、中高生・大学生・短期大学部学生・教職員が出席し、来賓もお招きしての祝福豊かな「創立100周年記念式典」を開催することが叶った。そのように行動が制限された中ではあったが、それゆえに祈りをささげる機会が多く与えられた年でもあったと言える。

2. 祈りと学び

- 新任職員オリエンテーション聖書学課:時間を短縮し、12時までの開催として対面形式で実施した。
- 学院聖書学課(年5回):感染防止のため、マロリーホールにて席の間隔を確保して開催した。

- 北陵教職員の朝の礼拝:密集せず、賛美は声量を抑える等、感染防止対策を講じた上で、月・水・金に実施した。
- 教職員祈祷会:中学校・高等学校では月1回実施し、本部・大学・短期大学部では、(可能な限りで)毎月の初日に朝の礼拝時に「月初め祈祷会」として実施した。

3. チャペル礼拝

- 中学校・高等学校においては、コロナ禍の中であっても、毎日10分程のクラス単位の礼拝を例年通り実施できた。毎週木曜日の平常チャペル礼拝、ミッションマンズの礼拝もすべて、夏までは放送によって実施した。9月からはロウ記念講堂において、席の間隔を確保した上で実施できた。ミッションウィークも、本山大輔氏(日本バプテスト連盟豊前キリスト教会牧師)を講師に迎え、ロウ記念講堂にて対面で実施することができた。クリスマス礼拝は、100周年を記念して、中高・大学・短期大学部合同で、ソレイユホールにて実施できた。
- 大学・短期大学部は、100周年を意識した講師選定を行い、宣教師やキリスト教学校教育同盟校、卒業生や牧師など多様な方々に奨励をお願いした。短期大学部は対面形式、大学はハイブリッド形式で行い、前期ミッションデーでは、本学と関係性の深い方々を中心に、日本バプテスト連盟より江原美歌子先生をお招きし、大学での「新生讃美歌」導入を記念して賛美についてのメッセージをいただいた。また、同盟校の折尾愛真学園より増田賜先生をお招きし、本学の歴史を紐解くときが与えられた。後期は、ヘブンズガーデン羊毛あそび教室主宰で西南女学院高校卒業生でもあるかくのぶえ先生から本校卒業生としてのお働きの豊かさを、そしてジャーナリストの新田義貴先生より、ウクライナの現状からのメッセージをいただいた。
- 100周年を記念して、中高・大学・短期大学部が合同で、「創立100周年記念クリスマス礼拝」を北九州ソレイユホールを会場に開催した。中高生と大学・短期大学部学生が共に準備を重ねたハンドベルクワイヤーや生誕劇をはじめ西南女学院が礼拝によって一体となる時が与えられた。奨励は、長年西南学院のキリスト教教育を率いて来られたG.W.バークレー先生により「希望の灯」と題してメッセージをいただいた。また、本学で学んでいるウクライナ学生のマーシャ・ダシュケヴィッチさんによる「平和のスピーチ」では、クリスチャン学生として、クリスマスの本当の意味、イエス・キリストは過去の人ではなく、今も生きて働いておられることを強調され、苦しみ悲しみの中におられるウクライナの方々の代表として心からのメッセージを参加者一同に届けてくださった。
- クリスマス募金は、例年通り、学生と教職員対象に募金の呼びかけを行った。今年度は、通常の献金先に加え、前年度ミッションデーを踏まえての「プリ・キンダーガルテンスクール」へ、そして、西南女学院大学がサポートしている「ウクライナ学生支援募金」へ重点的にささげられた。また中学校・高等学校、そして幼稚園においても、例年通り献金を集め、通常の献金先へとささげられた。

4. 地域諸教会との協力関係

今年度は、ようやくコロナが少し落ち着いてきたこともあり、中高・大学・短期大学部での「教会訪問」を再開した。「教会案内」は、中高生には冊子を配布、大学・短大生にはユニバーサル・パスポートにてPDFを配信した。尚、「キリスト教教育特別講演会」及び「キリスト教教育研究会」、その研究会の下にある「牧師交流会」、「キリスト教教育研究会総会」及び「現代神学を学ぶ会」は、昨年度同様、感染防止の観点から見合わせとした。

5. 教職員の主体的な活動

- 中学校・高等学校では、定例として、月の第一火曜日朝に「月初め祈祷会」がもたれた。また、入職3年目までの職員有志を対象に、村瀬泉校長主催による「キリスト教教育オリエンテーション」が月に一度、放課後、継続して開かれた。
- 同窓生主体として開始された「西南女学院100周年有志祈祷会」を引き継ぎ、「西南女学院祈祷会」として近隣の牧師や信徒もまじえ、有志教職員と近隣教会の方々により中学校・高等学校会議室において実施した。
- キリスト教センターの主催により、全教職員を対象とした教職員むけ聖書講座「申命記に聞く！」を前期3回にわたり実施し、聖書の学びをより深めることができた。

2022年度 西南女学院 年間主題と年間聖句、月間主題と月間聖句

年間主題 「希望によって歩む」

年間聖句 希望は私たちを欺くことはありません。ローマの信徒への手紙5章5節a

【主にある教育:4-7月】

4月 「学院の教育の原点」

ヨハネの手紙一 4章7節

「愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。」

5月 「学院の教育の継承」

ヨハネによる福音書 15章5節a

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」

6月 「学院の女子教育」

詩編 23編1-3節

「主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。主はわたしを青草の原に休ませ 憩いの水のほとりに伴い 魂を生き返らせてくださる。」

7月 「学院の礼拝」

エフェソの信徒への手紙 5章19-20節

「詩編と賛歌と霊的な歌によって語り合い、主に向かって心からほめ歌いなさい。そして、いつも、あらゆることについて、わたしたちの主イエス・キリストの名により、父である神に感謝しなさい。」

【隣人・世界を覚えて 8-11月】

8月 「平和」

エフェソの信徒への手紙 4章2-3節

「一切高ぶることなく、柔和で、寛容の心を持ちなさい。愛をもって互いに忍耐し、平和のきずなで結ばれて、霊による一致を保つように努めなさい。」

9月 「基本的人権」

イザヤ書 43章4節

「わたしの目にあなたは価高く、貴くわたしはあなたを愛し あなたの身代わりとして人を与え 国々をあなたの魂の代わりとする。」

10月 「環境と生活」

創世記 1章 31節a

「神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。」

11月 「世界にある格差を覚えて」

フィリピの信徒への手紙 2章3-4節

「何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。」

【希望と喜び 12-2月】

12月 「キリストの誕生」

イザヤ書 9章5節

「ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神 永遠の父、平和の君」と唱えられる。」

1月 「キリストにある希望」

ローマの信徒への手紙 12章12節

「希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。」

2月 「魂の深まり」

詩編 103編2節

「わたしの魂よ、主をたたえよ。主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。」

【世界への派遣 3月】

3月 「世界に向かって羽ばたく」

イザヤ書 40章31節

「主に望みをおく人は新たな力を得 鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れな

学院聖書学課

年間5回、木曜日（16時20分～16時50分）にマロリーホールにて実施した。

新型コロナウイルス感染防止対策をとりつつ、すべて対面で実施し、それぞれの奨励者の観点からみ言葉のとき明かしを傾聴し、キリスト教主義学校で働く意義、また時には、西南女学院の歴史をより深く知り、建学の精神を改めて心に留める貴重な機会となった。詳細は次のとおり。

月日	奨励者	主題・聖書	司会	奏楽
4/21 (木)	久多良木 和夫 氏 女学院評議員 日本キリスト教団 北九州復興教会牧師 東京聖書学校校長	「新しい命で 生かしてください。」 エレミヤ書 31章 31～34節	松下 範枝 中学校・高等学校 副校長、宗教部長	金谷 めぐみ キリスト教センター 音楽主事 大学福祉学科講師
7/21 (木)	本山 大輔 氏 日本バプテスト連盟 豊前キリスト教会牧師	「不安があっても大丈夫」 マルコによる福音書 9章14～29節	東 彩子 キリスト教センター長 大学・短期大学部 宗教主事	文屋 典子 大学福祉学科講師
10/20 (木)	村瀬 泉 女学院中学校・ 高等学校校長	「人を通して働かれる神」 ～神の働き人になるとは～ マルコによる福音書 5章 25～34節	神崎 明坤 大学宗教主事補 観光文化学科長	爲頼 康子 中学校・高等学校 教諭
12/1 (木)	中村 和光 氏 女学院評議員 日本キリスト教団 門司大里教会・ 門司白金教会牧師	「大いなる喜び」 ルカによる福音書 2章 1～20節	東 彩子 キリスト教センター長 大学・短期大学部 宗教主事	佐野 智江 中学校・高等学校 教諭
2/16 (木)	ラス・ボーグ 宗教主任補佐 日本バプテスト宣教団 宣教師 早良教会協力牧師	「西南女学院の知られざる秘宝」 マタイによる福音書5章14～16節 ヨハネによる福音書10章9～10節	松下 範枝 中学校・高等学校 副校長、宗教部長	文屋 典子 大学福祉学科講師 大学福祉学科講師

<各校の主な宗教教育>

◎大学・短期大学部

1.チャペル

【短期大学部】(水曜日10:50~11:50)

1,2年合同でマロリーホールにて対面で実施。

【大 学】(木曜日10:50~11:50)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、『看護学科1年・栄養学科1年・助産別科』『福祉学科1年・英語学科1年・観光文化学科1年』の2グループが週交替でマロリーホールにて対面で実施。対面チャペルでない週の礼拝は、録画配信の視聴とした。

尚、大学2年生以上は、マロリーホール2階での参加または録画配信を視聴する方式とした。

2.ミッションデー

【春季ミッションデー】

<ミッションデー第1週> 短期大学部:5月11日(水)、大学:5月12日(木)

奨励:江原 美歌子 先生(日本バプテスト連盟宣教部教会音楽室室長、日本バプテスト相模中央キリスト教会音楽主事、東京バプテスト神学校教会音楽科講師、日本賛美歌学会運営委員、キリスト教礼拝音楽学会理事)

主題:「賛美歌ってどんな歌?」 聖書:詩編 102編19節

<ミッションデー第2週> 短期大学部:5月18日(水)、大学:5月19日(木)

奨励:増田 賜 先生(学校法人折尾愛真学園 副理事長)

主題:短期大学部:「仕合わせとは」、大学:「人生は出会いで決まる」 聖書:ヨハネによる福音書15章5節

【秋季ミッションデー】

<ミッションデー第1週> 短期大学部:11月9日(水)、大学:11月10日(木)

奨励:新田 義貴 先生(映画監督、ジャーナリスト)

主題:「戦火ウクライナと共に生きる」 聖書:マタイによる福音書22章39節

<ミッションデー第2週> 短期大学部:11月16日(水)、大学:11月17日(木)

奨励:かく のぶえ 先生(ヘヴンズガーデン羊毛あそび教室主宰)

主題:短期大学部:「ペレ少年とふんわりけのこひつじ」 大学:「リトリート、自分を取り戻す時間と場所へ」

聖書:詩編23編1~6節

3.クリスマス礼拝

【中学校・高等学校、大学・短期大学部合同開催】

「創立100周年記念クリスマス礼拝」

日 時:2022年12月15日(木)13:00~15:00

場 所:北九州ソレイユホール

奨 励:G.W.バークレー 先生(学校法人西南学院前理事長、前学長)

奨励題:「希望の灯」

聖 書:イザヤ書40章1~11節

4.送別礼拝

【短期大学部】1月18日(水)

奨励:池田佐輪子(短期大学部保育科講師)、末成妙子(短期大学部保育科教授)

【大学】1月19日(木)

奨励:東 彩子(キリスト教センター長、大学・短期大学部宗教主事)

5.ハンドベルクワイヤー

大学・短期大学部ハンドベルクワイヤー

部員:3名(大学4年1名、大学2年2名)

創立100周年記念クリスマス礼拝では、中学校・高等学校ハンドベル部と共に演奏を行った。

6.講義

・短期大学部:「キリスト教学Ⅰ」、「キリスト教学Ⅱ」、「キリスト教学保育」

・大 学:「キリスト教学(旧約聖書)」、「キリスト教学(新約聖書)」、
「キリスト教と西南女学院のあゆみ」、「キリスト教と文化」、
「キリスト教と現代」

◎中学校・高等学校

1.礼拝

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次のように実施した。

・全体礼拝 木曜日 8:55～9:40

4～8月:放送礼拝(各教室)、9～3月:対面礼拝(ロウ講堂)

・クラス礼拝 月・火・水・土曜日 8:40～8:50(各教室)

※土曜日のみ 1年 学年礼拝 8:35～8:50(視聴覚教室)

2～6年 クラス礼拝 8:40～8:50(各教室)

・放送礼拝 金曜日 8:35～8:50(各教室)

2.春季ミッションマンス

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、放送による全体礼拝

第1回 6月2日(木)

篠原 健治 先生(日本バプテスト福岡国際キリスト教会牧師)

主 題:「平和をつくり出す者の幸い」

聖 書: マタイによる福音書5章9節

讃美歌: 新生讃美歌326番

第2回 6月9日(木)

塚本 吉興 先生(日本キリスト教団 福岡中部教会牧師)

主 題:「ぼちぼち行こか、イエスさまと一緒に」

聖 書: イザヤ書41章10節

讃美歌: 新生讃美歌244番

第3回 6月16日(木)

ロッキー&マーラ綾塚 先生(アロマ・ミニストリーズ)

主 題:「“Ahead of the Game”」

聖 書: フィリピの信徒への手紙3章13～14節

讃美歌: 英語讃美歌5番

3.秋季ミッションウイーク

ロウ講堂にて対面による全体礼拝

本山 大輔 先生(日本バプテスト連盟 豊前キリスト教会牧師)

総主題「こんなはずじゃなかった！人生は計算外だらけ、でもそれで順調」

10月13日(木)「こんな私が教会へ」

聖書: マタイによる福音書11章28～30節

10月14日(金)「神の恵みは不思議な恵み」

聖書: ペテロの手紙一4章10節

10月15日(土)「きっとこれからも計算外だらけ、でもそれで順調」

聖書: マタイによる福音書20章1～16節)

4.クリスマス礼拝

大学・短期大学部との合同開催

5.卒業礼拝

2022年2月22日(水)ロウ講堂にて

奨励: 伊藤光雄先生(日本バプテストシオン山教会牧師、西南女学院中学校・高等学校聖書科非常勤講師)

主 題: 「よいほん」

聖 書: フィリピの信徒への手紙3章13～14節

讃美歌: 新生賛美歌105番

◎幼稚園

1. 礼拝等キリスト教行事

5/23(月) ファミリー礼拝(うみグループ)

5/24(火) ファミリー礼拝(もりグループ)

5/25(水) ファミリー礼拝(そらグループ)

6/8 (水) 花の日礼拝

6/24(金) ファミリー礼拝(ひよこグループ)

9/16(金) 敬老礼拝(園児のみで実施)

11/2(水) 収穫感謝礼拝

11/13(日) 日本バプテストシオン山教会 子ども祝福式(希望者参加)

11/30(水) 子どもクリスマス礼拝

(全園児参加・場所: 日本バプテストシオン山教会)

12/3 (土) クリスマス礼拝 10:00～

場 所: 日本バプテストシオン山教会

奨 励: 伊藤光雄 (日本バプテストシオン山教会牧師)

聖 書: ヨハネによる福音書 3章16節

参 加: 年長児とその保護者・年中児

12/15(木)クリスマス祝会

5. 学生・生徒・園児

(1) 志願者数

2022(令和4)年5月1日現在

学 校 名		入学定員	入学志願者数		実入学者数		
			推薦	一般	推薦	一般	
大 学	保健 福祉 学部	看護学科	90	68 (2)	192 (3)	61 (2)	29 (0)
		福祉学科	80	42 (2)	143 (3)	42 (2)	38 (1)
		栄養学科	100	30 (0)	63 (1)	30 (0)	7 (1)
		計	270	140 (4)	398 (7)	133 (4)	74 (2)
	人 文学 部	英語学科	60	8 (0)	50 (2)	8 (0)	14 (1)
		観光文化学科	60	18 (0)	57 (4)	18 (0)	16 (1)
		計	120	26 (0)	107 (6)	26 (0)	30 (2)
		助産別科	16	16	48	8	8
		小計	406	182 (4)	553 (13)	167 (4)	112 (4)
		累計		735 (17)		279 (8)	
短 期 大 学 部	保育科	100	41 (1)	24 (3)	41 (1)	13 (1)	
	累計		65 (4)		54 (2)		
高 等 学 校	一般中学より	80	6	66	6	20	
	西南女学院中学より	80	39		39		
	計	160	111		65		
中 学 校		80	92		27		
幼 稚 園		満3歳児 20	満3歳児	9	満3歳児	9	
		3歳児 30	3歳児	19	3歳児	17	
		4歳児 15	4歳児	2	4歳児	1	
		5歳児 若干	5歳児	0	5歳児	0	

【注】 ()内は西南女学院高校からの志願者数・入学者数を内数で示す。

大学推薦選抜には、総合型選抜の志願者数・入学者数を含む。

大学一般選抜には、社会人選抜、大学入学共通テスト利用選抜及び外国人留学生選抜の志願者数・入学者数を含む。

短期大学部推薦選抜には、総合型選抜の志願者数・入学者数を含む。

短期大学部一般選抜には、特待生選抜、社会人選抜、大学入学共通テスト利用選抜の志願者数・入学者数を含む。

幼稚園満3歳児は5月2日以降に入園予定の8名を含む。

(2) 在籍者数

学 校・学科等		新 入 生	総 数	
			2022. 5. 1 現在	2023. 3. 31 現在
大 学	看 護 学 科	93	388 (5)	385 (6)
	福 祉 学 科	74	318 (1)	312 (8)
	栄 養 学 科	46	218 (3)	210 (2)
	英 語 学 科	27	152 (4)	150 (4)
	観 光 文 化 学 科	32	209 (1)	207 (1)
	助 産 別 科	16	16	16
	計	288	1,301 (14)	1,280 (21)
大 学 短 期 部	保 育 科	31	107	97
	計	31	107	97
中・高 4 5 6 年		65	182	173
中・高 1 2 3 年		27	101	101
幼 稚 園		12	82	96
合 計		423	1,773 (14)	1,747 (21)

(注) 休学者は在籍数の隣に()を付して内数で示す。

(3) 卒業生数

2023(令和5)年5月1日現在

2022年度卒業生		人 員	累 計	旧制女学校卒業生		累 計			
学 校 名				専 門 学 校	英 語 科				
幼 稚 園		32	3,807	女 学 校		2,147			
中 学 校		39	12,458	専 門 学 校 累 計 (203)	英 語 科	87			
高 等 学 校		49	14,392		生 活 科	116			
大 学 短 期 大 学 部	(英 語 科)	-	9,460						
	生 活 創 造 学 科	-	10,509						
	保 育 科	50	8,484						
	(食 物 栄 養 科)	-	4,032						
	計	50	32,485						
大 学	看 護 学 科	87	2,333						
	福 祉 学 科	76	2,970						
	栄 養 学 科	49	1,663						
	英 語 学 科	42	631						
	観 光 文 化 学 科	63	910						
	人 文 学 科	-	388						
	助 産 別 科	16	246						
	計	333	9,141						
合 計		503	72,283				合 計		2,350
総 数 (卒業生総数)			74,633						

(注) 中学校卒業生39名の中、内部高校進学者数35名

6. 教職員組織

(1) 教職員数

2023(令和5)年3月1日現在

< 職員 >

本 部

院長・事務局長・課長・室長			書記	書記補	教育 支援 職員	計
院 長	田中綜二	1				1
学院宗教主任	田中綜二	※				—
事 務 局 長	五十嵐勝	1				1
総 務 課 長	姫野隆行	1	3			4
人事給与課長	姫野隆行	※	1	1		2
経 理 課 長	中島 徹	※				—
施 設 課 長	中村洋介	※				—
経営企画課長	鮫島浩昭	1	1			2
広 報 課 長	北山博英	1	1			2
初任教員事務室長	山本淳之	1			1	2
小 計	6		6	1	1	14

【注】※印は学内兼務者を示す。

< 教員 >

大 学

学 長 浅 野 嘉 延 宗教主事 東 彩 子											
学長・副学長・学部長・学科長		学長	副学長 学部長	教授	准 教授	講師	助教	助手	計	教育 支援 職員	計
学 長	教授 浅野嘉延	1							1		1
副 学 長	教授 伊藤直子		1						1		1
保 健 福 祉 学 部	学 部 長	教授 伊藤直子	※						—		—
	看護学科	教授 大嶋満須美		10	2	7	5	7	31	1	32
	福祉学科	教授 稲木光晴		6	4	7	1	1	19		19
	栄養学科	教授 坂田郁子		9	5	3		4	21	1	22
人 文 学 部	学 部 長	教授 八尋春海	1						1		
	英語学科	教授 マルコム・ロス・スワンソン		5	1	2			8	1	16
	観光文化学科	教授 神崎明坤		3	3				6		
助産別科	教授 田中満由美			1		2	2	1	6		6
小 計		1	2	34	15	21	8	13	94	3	97

大学短期大学部

学 長 浅 野 嘉 延		宗教主事 東 彩 子									
学長・副学長・学部長・学科長		学長	副学長 学部長	教授	准 教授	講師	助教	助手	計	教育 支援 職員	計
学 長	燁 浅野嘉延	※							—		—
副 学 長	—		—						—		—
学 部 長	教授 戸田由美		1						1		1
保 育 科	教授 末寄雅美			3	7	2			12	2	14
小 計		—	1	3	7	2			13	2	15

【注】※印は学内兼務者を示す。

中学校・高等学校、幼稚園

校 長・園 長		教 頭	宗教 部長	校長 園長	副校長 副園長	教諭	常勤 講師	実習 助手	計
中学校・高等学校 校 長 村瀬 泉 副校長 松下範枝	高校	宮 直樹		1	1	26	7	1	36
	中学	松下範枝							
大学短期大学部附属 シオン山幼稚園 園長(大学短期大学部教授) 戸田由美		—	—	※	—	8	—	—	8

【注】※印は学内兼務者を示す。

教 員 合 計

大 学	大学 短期大学部	高校・中学	幼稚園	計
94	13	36	8	151

< 職 員 >
大 学

部局等		部長・館長	課 長・室 長		書 記 司 書	書記補 司書補	再雇用	専門職員	計
入試部	入試課	教授 ※ 今村浩司	築別昇一郎	※	3 (3)				3 (3)
教務部	教務課	教授 ※ 太田かおり	隅田直孝	1 (1)	5 (5)				6 (6)
学生部	学生課	教授 ※ 高崎智子	藤川信幸 三宅利佳	2 (2)	2 (2)				7 (7)
	就職課		坂田美登里	1 (1)	1 (1)	1 (1)			
事務部	庶務課	小川 尚 ※	小川 尚	1 (1)	2 (2)				1 2 (12)
	会計課		中島 徹	1 (1)	3 (3)	1 (1)			
	施設課		中村洋介	※	2 (2)				
	情報システム 管理課		隅田直孝	※	1 (1)	1 (1)			
図書館	図書課	教授 ※ 岡田和敏	垂水典子	1 (1)	2 (2)		1 (1)		4 (4)
	学生総合 支援室		教授 笹月桃子	※				1 (1)	1 (1)
小 計		—	7 (7)		2 1 (21)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	3 3 (33)

【注】 ()内は本部又は大学短期大学部兼務者を示す。 ※印は学内兼務者を示す。

大学短期大学部

部局等		部長・館長	課 長・室 長		書 記 司 書	書記補 司書補	再雇用	専門職員	計
入試部	入試課	大学教授 ※ 今村浩司	築別昇一郎	1 (1)					1 (1)
教務部	教務課	大学教授 ※ 太田かおり	隅田直孝	※					—
学生部	学生課	大学教授 ※ 高崎智子	藤川信幸 三宅利佳	※	2 (2)				3 (3)
	就職課		坂田美登里	※	1 (1)				
事務部	庶務課	小川 尚 ※	小川 尚	※					1 (1)
	会計課		中島 徹	※					
	施設課		中村洋介	1 (1)					
	情報システム 管理課		隅田直孝	※					
図書館	図書課	大学教授 ※ 岡田和敏	垂水典子	※					—
	学生総合 支援室		大学教授 笹月桃子	※				1 (1)	1 (1)
小 計		—	2 (2)		3 (3)			1 (1)	6 (6)

【注】 ()内は本部又は大学兼務者を示す。 ※印は学内兼務者を示す。

中学校・高等学校、幼稚園

区 分	事 務 長		書記	書記補	再雇用	計
中学校・高等学校	山口哲蔵	1	1		1	3
シオン山幼稚園	—		1			1
小 計	1		2		1	4

職 員 合 計

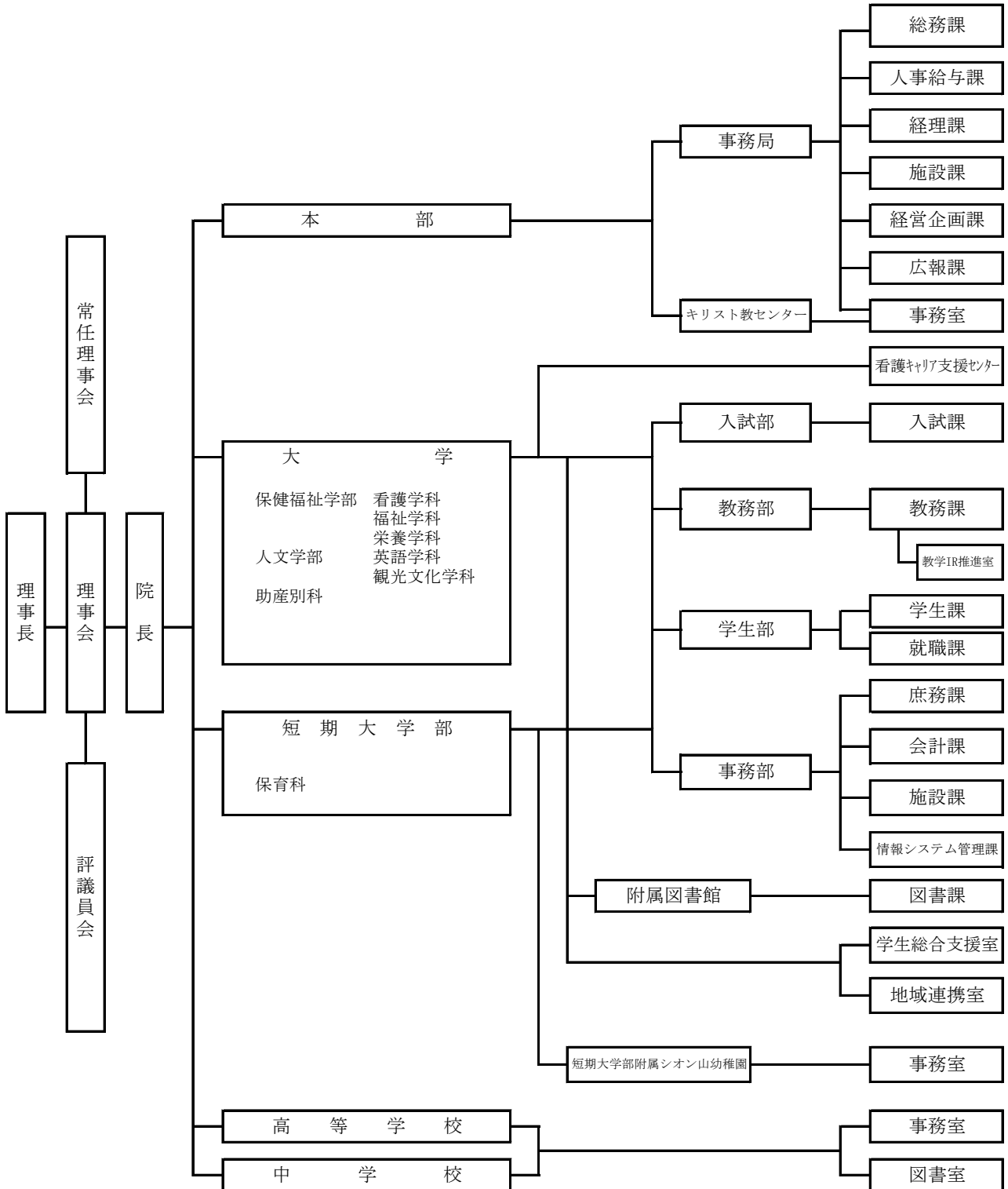
院長	事務局長	事務部長	課 長 室 長 事務長	書 記 司 書	書記補 司書補	再雇 用	専門 職員	計	教育 支援 職員	計
1	1	※	1 4	3 2	4	2	2	5 6	6	6 2

【注】 ※印は学内兼務者を示す。

教職員合計 教 員 1 5 1 名
 職 員 6 2 名 } 2 1 3 名

(2) 組織図

2023(令和5)年3月1日現在



7. 役員

【定数】理事16名 監事2名

2023(令和5)年3月1日 現在

理事／監事	氏 名	常勤・非常勤の別	任 期
理事長	向 雅 彦	常勤	2020. 4. 1～2023. 3. 31
理事	田 中 綜 二	常勤 院長 学院宗教主任(兼)	2020. 4. 1～2024. 3. 31 2022. 4. 1～2023. 3. 31
理事	浅 野 嘉 延	常勤 大学長・ 大学短期大学部学長(兼)	2021. 4. 1～2025. 3. 31
理事	村 瀬 泉	常勤 中学校・高等学校校長	2020. 4. 1～2023. 3. 31
理事	五十嵐 勝	常勤 事務局長	2017. 4. 1～
理事	伊 藤 直 子	常勤 大学保健福祉学部長	2022. 4. 1～2024. 3. 31
理事	八 尋 春 海	常勤 大学人文学部長	2022. 4. 1～2024. 3. 31
理事	戸 田 由 美	常勤 大学短期大学部長	2022. 4. 1～2024. 3. 31
理事	塩 屋 優 子	非常勤 教会牧師	2020. 4. 1～2023. 3. 31
理事	舛 本 敬 子	非常勤 同窓会会長	2020. 4. 1～2023. 3. 31
理事	山 崎 工	非常勤 前同窓会会長	2020. 4. 1～2023. 3. 31
理事	植 田 浩 司	非常勤 元大学学長	2020. 4. 1～2023. 3. 31
理事	渡 邊 仁	非常勤 元短期大学学長	2020. 4. 1～2023. 3. 31
理事	藤 本 新 二	非常勤 社会福祉法人理事長	2020. 4. 1～2023. 3. 31
監事	大 熊 強	非常勤 保護司	2020. 4. 1～2023. 3. 31
監事	木 本 正 徳	非常勤 前会社役員	2020. 4. 1～2023. 3. 31

※役員の数と実数の差は兼務により理事定数を減じる規定による。(寄附行為第7条第2項)

◎ 役員賠償責任保険

保険種類：役員賠償責任保険（東京海上日動火災保険株式会社）

契約者：日本私立大学協会（団体）

被保険者：理事・監事、評議員、執行役員、退任役員及び法人

保険期間：2022年4月1日～2023年4月1日

総支払限度額：3億円

8. 評議員

【定数】36名

2023(令和5)年3月1日 現在

氏 名	現職等	任 期
向 雅 彦	理事長	2020. 4. 1～2023. 3. 31
田 中 綜 二	院長 学院宗教主任(兼)	2020. 4. 1～2024. 3. 31 2021. 4. 1～2023. 3. 31
浅 野 嘉 延	大学長・ 大学短期大学部学長(兼)	2021. 4. 1～2025. 3. 31
村 瀬 泉	中学校・高等学校校長	2020. 4. 1～2023. 3. 31
五十嵐 勝	事務局長	2017. 4. 1～
伊 藤 直 子	大学保健福祉学部長	2022. 4. 1～2024. 3. 31
八 尋 春 海	大学人文学部長	2022. 4. 1～2024. 3. 31
戸 田 由 美	大学短期大学部長	2022. 4. 1～2024. 3. 31
植 田 浩 司	元大学学長	2020. 4. 1～2023. 3. 31
渡 邊 仁	元短期大学学長	2020. 4. 1～2023. 3. 31
藤 本 新 二	社会福祉法人理事長	2020. 4. 1～2023. 3. 31
今 村 浩 司	大学・短大入試部長(兼)	2021. 4. 1～2023. 3. 31
太 田 かおり	大学・短大教務部長(兼)	2022. 4. 1～2023. 3. 31
宮 直 樹	高等学校教頭	2022. 4. 1～2023. 3. 31
松 下 範 枝	中学校教頭	2022. 4. 1～2023. 3. 31
目 野 郁 子	大学看護学科教授	2020. 4. 1～2023. 3. 31
稲 木 光 晴	大学福祉学科教授	2020. 4. 1～2023. 3. 31
末 成 妙 子	短期大学部保育科教授	2020. 4. 1～2023. 3. 31
末 寄 雅 美	短期大学部保育科教授	2020. 4. 1～2023. 3. 31
内 田 絵理香	中学校・高等学校教諭	2020. 4. 1～2023. 3. 31
井 上 真理子	中学校・高等学校教諭	2020. 4. 1～2023. 3. 31
鮫 島 浩 昭	本部経営企画課長	2020. 4. 1～2023. 3. 31
中 島 徹	本部経理課長	2020. 4. 1～2023. 3. 31
塩 屋 優 子	卒業生	2020. 4. 1～2023. 3. 31
舩 本 敬 子	卒業生	2020. 4. 1～2023. 3. 31
山 崎 工	卒業生	2020. 4. 1～2023. 3. 31
嶋 田 涼 美	卒業生	2020. 4. 1～2023. 3. 31
荒 瀬 謙 二	教会牧師	2020. 4. 1～2023. 3. 31
久多良木 和夫	教会牧師	2020. 4. 1～2023. 3. 31
佐 藤 清 一	教会牧師	2020. 4. 1～2023. 3. 31
中 村 和 光	教会牧師	2020. 4. 1～2023. 3. 31
原 田 義 也	教会牧師	2020. 4. 1～2023. 3. 31

※評議員の定数と実数の差は兼務により評議員定数を減じる規定による。(寄附行為第25条第3項)

9. 理事会議案及び決議

2022(令和4)年4月～2023(令和5)年3月

第1回 2022(令和4)年5月25日(水)

- ・2021(令和3)年度事業報告及び決算等について
 - (1) 事業報告 承 認
 - (2) 決算報告 承 認
 - (3) 監事監査報告
- ・人事について 承 認
- ・ウクライナからの避難学生の受け入れについて 承 認
- ・2023年度大学・大学短期大学部学納金について 承 認
- ・西南女学院大学学則等の改正(案)について 承 認
 - (1) 学則第2条の4に定める西南女学院大学の三つの方針(栄養学科)の改正(案)について
 - (2) 西南女学院大学学則(別表第一)の改正(案)について
 - (3) 西南女学院大学「履修規程」(別表第一)の改正(案)について

第2回 2022(令和4)年5月25日(水)

- ・中学校・高等学校の中期計画(2022-2026)(案)について 承 認

第3回 2022(令和4)年9月16日(金)

- ・人事について 承 認
- ・第2号基本金の組入れに係る計画の変更について(案) 承 認
- ・2022(令和4)年度補正予算(案)について 承 認
- ・2023(令和5)年度予算基本方針(案)について 承 認
- ・西南女学院育児・介護休業等に関する規程改正(案)について 承 認
- ・西南女学院育児・介護休業等に関する労使協定改正(案)について 承 認
- ・西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部会議規則の改正(案)について 承 認
- ・教学マネジメント会議規程(案)について 承 認
- ・西南女学院大学・大学短期大学部ガバナンス・コード(案)について 承 認
- ・西南女学院大学・大学短期大学部ガバナンス・コードの適合状況について 承 認

第4回 2022(令和4)年12月14日(水)

- | | | |
|-------------------------------------|---|---|
| ・人事について | 承 | 認 |
| ・公的研究費に係る不正防止対策の基本方針と不正防止計画の策定について | 承 | 認 |
| ・2023(令和5)年度中学校・高等学校校納金(案)について | 承 | 認 |
| ・電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程(案)について | 承 | 認 |
| ・減価償却に関する規程改正(案)について | 承 | 認 |
| ・謝金等に関する規程(案)について | 承 | 認 |

第5回 2023(令和5)年2月10日(金)

- | | | |
|---------------------------|---|---|
| ・人事について | 承 | 認 |
| ・学院宗教主任の推薦について | 承 | 認 |
| ・短期大学部保育科の改革計画について | 承 | 認 |
| ・任期満了に伴う校長候補者の推薦について | 承 | 認 |
| ・任期満了に伴う理事・監事・評議員の選任について | 承 | 認 |
| ・寄附行為施行細則の変更について | 承 | 認 |
| ・監事候補者の選出について | 承 | 認 |
| ・2023年度役員賠償責任保険への加入継続について | 承 | 認 |
| ・大学各学部・学科の今後の方向性について | 承 | 認 |

第6回 2023(令和5)年3月22日(水)

- | | | |
|---|---|---|
| ・2023(令和5)年度事業計画及び当初予算(案)について | 承 | 認 |
| ・学校法人西南女学院中期計画 Mission「要」(2022-2026)の見直しについて
(大学、短期大学部、中学校・高等学校、幼稚園の中期計画を含む) | 承 | 認 |
| ・定年延長について | 承 | 認 |
| ・中学校・高等学校副校長候補者推薦について | 承 | 認 |
| ・人事について | 承 | 認 |
| ・任期満了に伴う理事・監事・評議員の選任について | 承 | 認 |
| ・地域連携室規程の制定について | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学短期大学部学則の改正について | 承 | 認 |
| ・大学外国人留学生規程の改正について | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学短期大学部「科目等履修生規程」の改正について | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学「履修規程」の改正について | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学助産別科「履修規程」の改正について | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学短期大学部「履修規程」の改正について | 承 | 認 |
| ・2023(令和5)年度園納金(案)について | 承 | 認 |

第二部

事業の概要・財務の概要

1. 事業及び決算の概要

○ 事業について

本年度は、教育・研究環境の整備に係る重点項目について新規事業計画に加えて創立100周年にかかる事業の計画を立てて予算の編成を行い、2021年度第3回評議員会及び第6回理事会において承認を受けて実施し、概ね計画どおりに完了しております。主な事業は次のとおりです。

〔法人本部〕

創立100周年に係る記念式典会場費 ・募金募集案内制作・発送 ・歴代宣教師記念碑建立
・モノレールラッピング広告 シティスケープ・モールスケープ等の広告

〔大学・大学短期大学部〕

・1号館・3号館照明LED化工事 ・6号館3階実習室AV設備更新工事
・第一体育館ステージ幕取替工事 ・第一体育館屋根、外壁修繕工事
・第一体育館トイレ改修工事（女子・男子・多目的）
・1・2・3号館ネットワーク敷設及び学生用無線LAN拡張工事
・西鉄バスラッピング広告
・記念事業及びオープンキャンパス告知のためのCM作成・放映

〔中学・高校〕

・高校棟屋上防水工事

◇ 学校法人西南女学院中期計画に基づく事業計画の推進

本年度は、中期計画に基づく周年事業を実施しました。また、100年のその先を見据え、策定した2022年度～2026年度の中期計画の見直しを行いました。これからの5年間で集中的に取り組むべき目標を“Mission「要」”とし、目標達成のための計画と合わせて「西南女学院 中期計画（2022～2026）Mission「要」”として3つのMissionに取り組んでいます。Mission 1では教育の質保証において教育内容及び環境を整備。老朽化した施設については、財源確保に努めながら計画的に整備に取り組みます。Mission 2では、経営基盤の安定に取り組みます。ガバナンスの強化においては、社会からの信頼と支持を得るように努め、財政の健全化については、収入に見合った支出の管理を行うと同時に収入の安定・増加に資するため、学生・生徒・園児の募集活動を強化します。また、支出抑制のために引き続き人件費の削減を行います。Mission 3では、本学院の魅力を積極的に発信し、西南女学院同窓会、西南女学院後援会、地域社会との連携に努めます。

◇ 施設等の状況

主な施設設備の状況は次のとおりです。

種別	所在地	土地面積	建物面積
北陵校地	北九州市小倉北区井堀	55,216㎡	39,947㎡
	北九州市小倉北区下到達津	3,514㎡	4,362㎡
南陵校地	北九州市小倉北区上到達津	32,979㎡	13,967㎡
	北九州市小倉北区都	1,106㎡	—
河内校地	北九州市八幡東区河内	24,902㎡	1,544㎡
	計	117,717㎡	59,821㎡

○ 決算について（千円以下四捨五入の関係で合計など数値が計算上一致しない場合があります。）

本法人の会計年度は、寄附行為第39条に規定されており、2022年度決算における会計期間は、2022年4月1日から2023年3月31日までの1年間としています。また、当決算は、2021年9月の予算基本方針承認、2022年3月の当初予算承認、2022年9月の補正予算承認を経て執行されてまいりました結果を私立学校法及び学校法人会計基準に則り、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表により表しています。

（1）資金収支計算書

この計算書は、企業会計のキャッシュ・フロー計算書に相当するもので、①毎会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容を明らかにすること及び②当該会計年度における支払資金（現金及びいつでも引き出すことができる預貯金）の収入及び支出のてん末を明らかにする

ことを目的とし、本法人の財政規模や資金の源泉、使途を表すものです。

当年度は、前年度繰越支払資金6億4,035万円に当年度資金収入36億7,036万円を加えた43億1,071万円が収入合計（財政規模）となりました。この収入合計から当年度資金支出38億9,269万円を差し引いた翌年度繰越支払資金は、4億1,802万円（期首比2億2,233万円減少）となりました。

（２） 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、企業会計における損益計算書に相当し、収支の均衡が取れているかを判断するとともに、純資産の増減を表す計算書です。学校法人は、営利を目的とはしませんが、永続的な運営を求められており、そのためには事業活動収支の均衡の確保も必要な条件となります。「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」という三区分別経理が導入され、合わせて当年度の収支差額を表示した後に基本金組入額を差し引くことになっています。

教育活動収支は、学校の教育・研究活動に関する収支で、教育活動外収支は、学校の教育活動を側面から支える財務活動及び収益事業活動に関する収支です。この教育活動収支と教育活動外収支は共に経常的な収支ですので、両者を合計したものを「経常収支差額」として表示し、経常的な事業活動が安定的であるかを判断する指標になります。加えてこの計算書には、退職給与引当金繰入額や減価償却額などの非資金も計上されます。特別収支は、学校法人にとって当該会計年度に臨時に発生した事業活動収支であり、収入では資産の売却益があったときの資産売却差額や施設設備に関する寄付金、補助金、現物寄付等が、支出では資産の売却損があったときの資産処分差額や災害損失等が計上され、その差異は「特別収支差額」として表示されます。

当年度の経常収支差額（教育活動収支及び教育活動外収支）は、4億3,882万円の支出超過。これに特別収支差額の208万円を加えた基本金組入前当年度収支差額は、4億3,674万円の支出超過となりました。これから基本金組入額 7,519万円を差し引いた当年度収支差額は、5億1,193万円の支出超過となり、前年度繰越収支差額△9億1,906万円と基本金取崩額1,18万円を加え、翌年度繰越収支差額は、14億2,981万円の支出超過となりました。

（３） 貸借対照表

資金収支計算書や事業活動収支計算書が一会計年度の収支状況を表しているのに対して、貸借対照表は、一会計年度末における学校法人の財政状態（財産の状態）を表示する計算書です。「資産の部」、「負債の部」、「純資産の部」で構成されており、純資産の部は、基本金及び繰越収支差額からなり、保有する資産の調達源泉（自己資金か他人資金か）が明示されています。

・資産の部

「固定資産」は、101億3,841万円（土地、建物、構築物などの有形固定資産51億9,660万円、使途が特定されている預金や有価証券等の特定資産48億9,665万円及びその他の固定資産4,516万円）、「流動資産」は、現金預金4億1,802万円に未収入金、貯蔵品、前払金などを加え5億3,669万円。以上、資産の部合計（総資産）は、106億7,510万円となりました。

・負債の部

退職給与引当金などの「固定負債」8億8,078万円及び未払金や前受金などの「流動負債」3億9,076万円の合計による総負債は、前年度末に比べ2,977万円増加し、12億7,154万円となりました。

・純資産の部

純資産（自己資金）は、「基本金」合計108億3,337万円と「繰越収支差額」△14億2,981万円の合計で94億356万円となりました。

・貸借対照表前年比

総資産は4億697万円減少、総負債は2,977万円増加しました。純資産（自己資金）は、前年度末98億4,030万円、当年度末94億356万円で4億3,674万円減少しました。なお、当年度末の純資産構成比率は、88.1%（前年度88.8%）です。

※2022年度の本学院の当年度の経営状況を表す事業活動収支差額比率は法人全体で△16.9%（前年度末0.4%）となり、前年度の比率より大きく悪化し、中期的な収支状況としてはさらに厳しい状況となっています。事業活動収支差額の推移を注視しつつ、経費の削減と予算の選択を適切に行い、さらに収入の増加に努め、引き続き健全な財政の維持に努める必要があります。

2. 財務の概要（2022年度予算の主な執行状況）

当期の予算の執行状況について、その概況を報告いたします。なお、金額は千円未満を四捨五入して示しています。

(1) 資金収支計算

資金収支計算は、次の目的に基づいて作成しています。

- ①当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容を明らかにする。
- ②当該会計年度における支払資金(現金預金)の収入及び支出のてん末を明らかにする。

資金収支計算について、その主な内容をご報告いたします。

資金収支総括表

【科目の説明です。】

(収入の部)		(単位:千円)		
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等からの授業料や入学金などです。科目等履修料、聴講料も含まれます。	1,801,350	1,804,966	△ 3,616	創立100周年に伴う寄付金が増加しています。
国や地方公共団体からの助成金です。	25,853	26,244	△ 391	
翌年度に入学予定の学生生徒等からの授業料や入学金などです。	34,097	42,442	△ 8,345	
長期、短期の貸付金の回収額。特定の目的のために積み立てた預金等を解約した場合の収入額などです。	521,063	540,993	△ 19,930	補助金収入には、2020年度から開始された高等教育の修学支援による授業料等減免費交付金と幼児教育無償化における施設型給付費(幼稚園)が含まれています。
収入として計上したが未収入となっているものや前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。	0	0	0	
	20,518	22,193	△ 1,675	
	17,759	18,428	△ 669	
	104,366	128,881	△ 24,515	
	0	0	0	
	437,295	274,628	162,667	学生数の減少により前受金収入が減少。収入の部の合計にも大きく関わっています。
	993,958	1,207,596	△ 213,638	
	△ 373,604	△ 396,010	22,406	
	3,582,655	3,670,362	△ 87,706	
	640,351	640,351		
	4,223,006	4,310,712	△ 87,706	
(支出の部)				
科目	予算	決算	差異	
土地、建物、構築物等を取得するための支出です。	2,047,579	2,046,994	585	教職員の人件費は減少していますが退職者の増加により退職金支出が増加しています。
教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書などを取得するための支出です。	643,911	600,140	43,771	
より良い教育研究サービスを提供するために、資金を積み立てるための支出です。	156,869	164,561	△ 7,692	100周年行事に係る印刷・広告費支出が増加。また、教育研究経費・管理経費とともにエネルギー価格の高騰の影響により光熱水費の支出が増加しました。
支出として計上したが未払いとなっているものや、前払金として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。	0	0	0	
	0	0	0	
	45,035	39,648	5,388	
	59,173	48,487	10,686	
	55,161	264,632	△ 209,471	本年度の事業である第一体育館のトイレ改修工事及び100周年記念事業である歴代宣教師記念碑建立等が主な支出となりました。
	761,211	789,561	△ 28,350	
	△ 43,343	△ 61,336	17,993	
	3,725,596	3,892,688	△ 167,092	
	497,411	418,024	79,386	
	4,223,006	4,310,712	△ 87,706	
当年度資金収支差額	△ 142,941	△ 222,326	79,386	

* 上記の金額は千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。なお、以下の表についても同様です。

学校会計について

学校法人は、教育研究活動を目的とし、その経費の多くは学生生徒等納付金、補助金、寄付金等により賄われているきわめて公共性の高い法人で、営利を目的とする企業とは異なります。

公共性が高い学校法人が教育研究活動を継続して行い永続的に存続していくためには、収支の均衡状況と財政状態を正しく捉え健全な経営を行わなければなりません。そのため学校法人会計は、文部科学省令により定められた「学校法人会計基準」に基づき経理処理が行われ、計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属する内訳表、明細表)を作成しなければなりません。

一方、企業会計では、損益計算書と貸借対照表そして上場企業においてはキャッシュフロー計算書が作成されます。企業会計では、収益と費用を正しく捉えて損益を計算し、併せて企業の財政状態(資産、負債及び資本)を知ることによって、より収益力を高め、財政的安全性を図ることを目的としています。

(2)事業活動収支

事業活動収支計算は、次の目的に基づいて作成しています。

- ①当該会計年度の活動に対応する事業活動収入及び活動支出の内容を明らかにする。
 - ②当該会計年度の基本金組入後の均衡の状態を明らかにする。
- ・事業活動収入とは、当該会計年度の学校法人の負債とならない収入として計算するものとする。
 ・事業活動支出とは、当該年度において消費する資産の取得価格及び当該会計年度における用役の対価に基づいて計算するものとする。

事業活動収支計算について、その主な内容をご報告します。

事業活動収支総括表

(単位:千円)

科目		予算	決算	増減	
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	1,801,350	1,804,966	△ 3,616	
	手数料	25,853	26,244	△ 391	
	寄付金	34,097	42,617	△ 8,520	
	経常費等補助金	520,343	540,249	△ 19,906	
	付随事業収入	20,518	22,193	△ 1,675	
	雑収入	104,366	124,494	△ 20,128	
	教育活動収入計	2,506,527	2,560,762	△ 54,235	
事業活動支出の部	人件費	2,081,521	2,079,528	1,993	
	教育研究経費	811,524	768,195	43,329	
	(うち、減価償却額)	(167,613)	(167,402)	(211)	
	管理経費	161,833	168,026	△ 6,193	
	(うち、減価償却額)	(4,964)	(4,965)	(0)	
	徴収不能額等	0	2,259	△ 2,259	
	教育活動支出計	3,054,878	3,018,008	36,870	
教育活動収支差額		△ 548,351	△ 457,246	△ 91,105	
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	17,759	18,428	△ 669	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	
	教育活動外収入計	17,759	18,428	△ 669	
教育活動外支出の部	借入金等利息	0	0	0	
	その他の教育活動外支出	0	0	0	
	教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額		17,759	18,428	△ 669	
経常収支差額		△ 530,592	△ 438,818	△ 91,774	
特別収入の部	資産売却差額	0	0	0	
	その他の特別収入	720	6,975	△ 6,255	
	特別収入計	720	6,975	△ 6,255	
	特別支出の部	資産処分差額	0	3,983	△ 3,983
		その他の特別支出	0	911	△ 911
特別支出計		0	4,895	△ 4,895	
特別収支差額		720	2,080	△ 1,360	
基本金組入前当年度収支差額		△ 529,872	△ 436,738	△ 93,134	
基本金組入額合計		△ 103,391	△ 75,192	△ 28,199	
当年度収支差額		△ 633,263	△ 511,929	△ 121,334	
前年度繰越収支差額		△ 919,058	△ 919,058	0	
基本金取崩額		1,453	1,178	275	
翌年度繰越収支差額		△ 1,550,868	△ 1,429,809	△ 121,059	

雑収入には私学退職金団体交付金収入が含まれます。

教職員に支払われる給与などです。

学生生徒等の教育研究のために支出する経費です。教育研究経費の中には減価償却額が含まれます。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

学生生徒等納付金の納付困難、貸付金の回収不能に備え、見込額を引当金として準備します。

事業活動収入から事業活動支出を差し引いたものであり純資産の増加を示します。

良好な教育環境を維持するための施設・設備等の額であり、基本金組入前当年度収支差額から差し引く金額です。

学生生徒等納付金は収入(経常収入)の71.4%となっていますが2020年度より施設型給付の幼稚園に移行したため、幼稚園の園納金は補助金に含まれます。

退職者の増加による私学退職金団体交付金の収入増加が主なものとなっています。

退職給与引当金繰入額1億1,140万円を含みます。

予算と比較すると経常収支差額は経常収入の増加と経常支出の減少に伴い9,191万円改善されたものの、厳しい状況となっています。

退職金団体給付金の過年度未請求による収入が過年度修正額として含まれています。

基本金組入前当年度収支差額に基本金を組み入れた当年度収支差額は5億1,179万円の支出超過となりました。

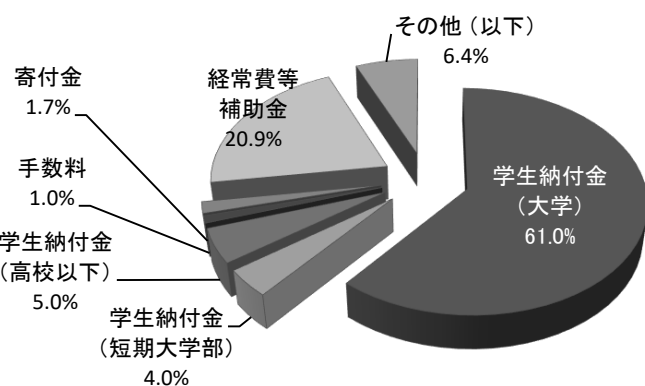
(参考)

事業活動収入計	2,525,006	2,586,165	△ 61,159
事業活動支出計	3,054,878	3,022,903	31,975

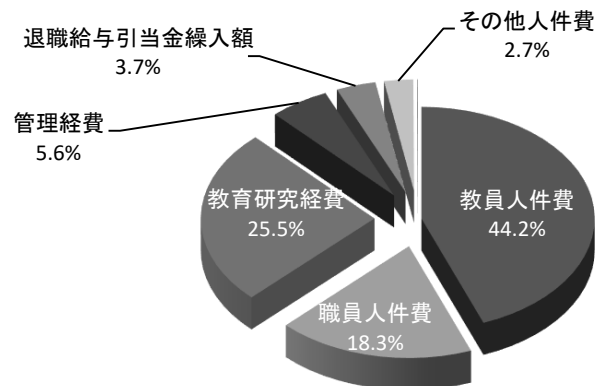
※経常収入=教育活動収入+教育活動外収入=2,579,191千円

※経常支出=教育活動支出+教育活動外支出=3,018,008千円

経常収入(2,579,191千円)の構成比率



経常支出(3,018,008千円)の構成比率



(3) 貸借対照表

① 貸借対照表とは、年度末における学校法人の財政状態(財産の状態)を表示する計算書であり、資産・負債・純資産及び消費収支差額の項目があります。

- ・資産とは、教育研究活動に使用される学校法人の財産です。・負債とは、将来返済しなければならない債務です。
- ・基本金及び繰越収支差額は、返済の必要のない学校法人の純資産です。

貸借対照表について、前年度末からの増減の主な理由を報告します。

【科目の説明です。】

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部		本年度末	前年度末	増減
校地、校舎、体育館などの建物及び建物附属設備(空調など)の額の事です。	固定資産	10,138,413	10,270,171	△ 131,757
教育研究のために使用される機械設備などの額です。	有形固定資産	5,196,604	5,284,152	△ 87,547
将来に備えて積み立てている資産の事です。	土地	708,623	708,623	0
学生生徒等に貸与している奨学金の額の事です。	建物	3,034,528	3,123,159	△ 88,631
現金及びすぐに引き出すことのできる預貯金の事です。	構築物	158,125	166,706	△ 8,581
決算日(3月31日)における退職資金交付額、補助金額等の未収額です。	教育研究用機器備品	128,877	128,626	251
返済期限が1年以上の借入金の事です。	管理用機器備品	2,757	3,038	△ 281
2022年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額の事です。	図書	1,163,694	1,154,000	9,694
返済期限が1年以内の借入金です。	特定資産	4,896,654	4,950,146	△ 53,492
翌年度に入学する学生生徒等から受け入れた授業料や入学金などの事です。	第2号基本金引当特定資産	70,398	60,398	10,000
財産的な基盤を確保する額の事です。学校法人を安定的かつ永続的に経営していくために必要な額です。	第3号基本金引当特定資産	87,957	85,870	2,086
	諸引当特定資産	4,738,299	4,803,878	△ 65,579
	その他の固定資産	45,155	35,873	9,282
	電話加入権	4,450	4,450	0
	長期貸付金	10,724	11,224	△ 500
	出資金	20,174	20,174	0
	敷金・保証金	18	18	0
	長期前払金	9,790	8	9,782
	流動資産	536,687	811,899	△ 275,211
	現金預金	418,024	640,351	△ 222,327
	未収入金	108,045	166,612	△ 58,567
	貯蔵品	1,398	1,289	110
	前払金	4,327	1,007	3,320
	立替金	4,268	2,471	1,797
	仮払金	625	169	456
	合計	10,675,101	11,082,070	△ 406,969
	負債の部、純資産の部			
	固定負債	880,782	850,418	30,364
	長期借入金	0	0	0
	長期未払金	29,002	29,995	△ 993
	退職給与引当金	851,780	820,422	31,358
	流動負債	390,761	391,357	△ 596
	短期借入金	0	0	0
	未払金	61,322	47,979	13,343
	前受金	274,628	285,707	△ 11,079
	預り金	36,744	38,030	△ 1,286
	修学旅行費預り金	18,067	19,641	△ 1,574
	計	1,271,543	1,241,774	29,769
	純資産	9,403,558	9,840,295	△ 436,737
	基本金	10,833,366	10,759,353	74,013
	繰越収支差額	△ 1,429,808	△ 919,058	△ 510,750
	計	9,403,558	9,840,295	△ 436,737
	合計	10,675,101	11,082,070	△ 406,969

2022年度の事業計画である第一体育館のトイレ改修工事、100周年記念事業である歴代宣教師記念碑建立及び1・2・3号館ネットワーク敷設、学生用無線LAN拡張工事等を行いました。

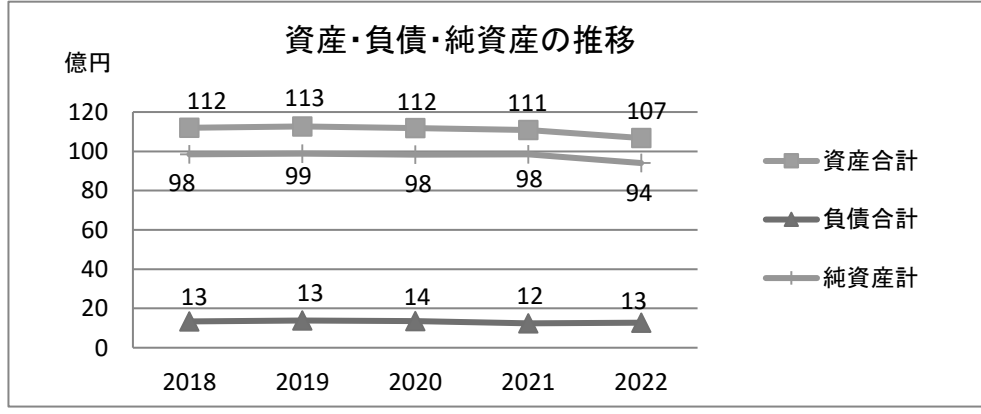
年度末退職者への退職金財団及び福岡県私学教育振興会からの給付金、国・県・市からの補助金・助成金等を未収入金として計上しています。

現在、借入金はありません。

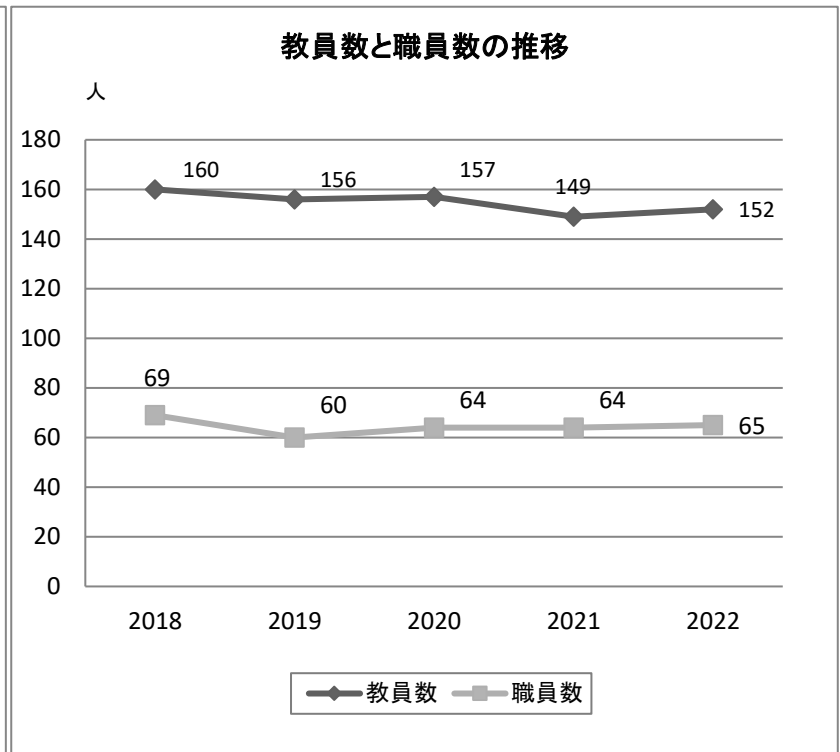
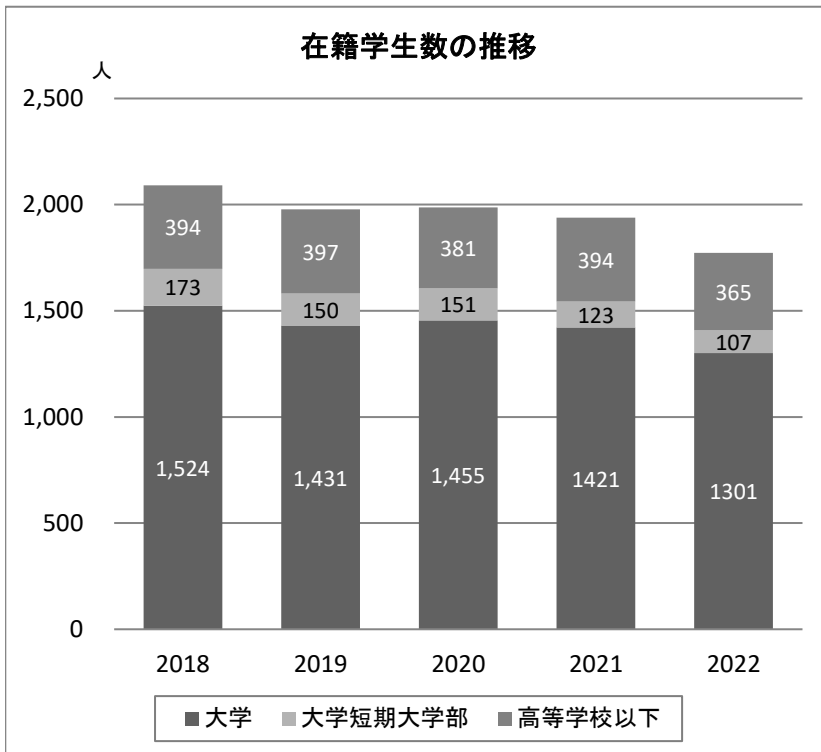
負債が2,977万円増加しました。

純資産が4億3,674万円減少しました。

減価償却額の累計額	5,293,285	5,144,813	148,472
基本金未組入額	50,327	51,330	△ 1,003



(4) 学生数・財務比率などの推移



計算書類について

資金収支計算書

当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動収支の内容を明確にし、事業活動収支の均衡を表すものです。

計算書の構造は、教育・研究活動(教育活動)と財務活動で生じる利息等(教育活動外収支)、資産売却等の臨時的収支(特別収支)に区分され、各区分の収支差額から経営状態の健全性を把握することができます。

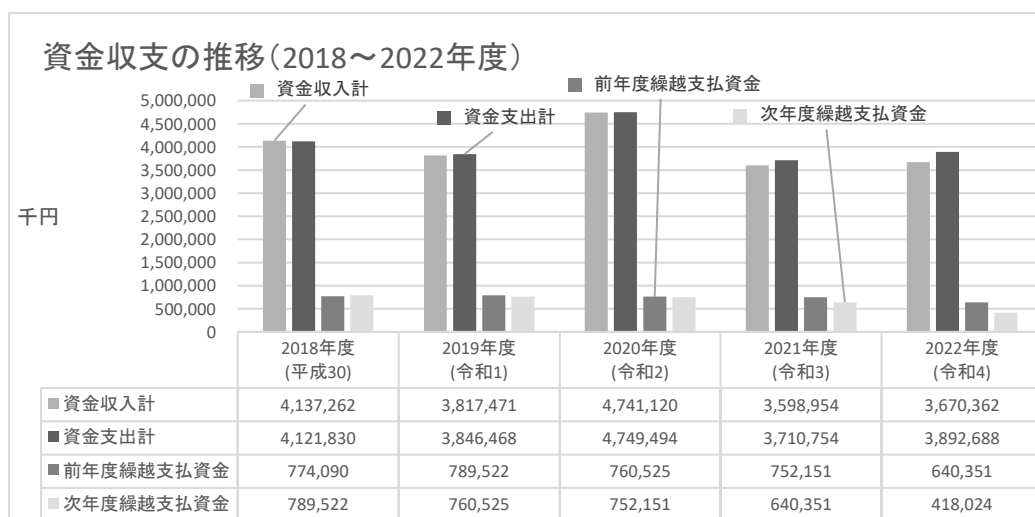
貸借対照表

当該会計年度末における資産・負債・純資産(基本金及び収支差額)の状況を把握し、財政状態を表すものです。

○ 資金収支の推移(学校法人)

(単位：千円)

科 目		2018年度 (平成30)	2019年度 (令和1)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)
収 入 の 部	学生生徒等納付金収入	2,184,939	2,078,598	2,085,612	1,982,524	1,804,966
	手数料収入	31,706	33,337	26,376	25,433	26,244
	入学検定料	27,627	29,458	23,908	21,950	22,729
	寄付金収入	42,094	149,612	50,107	49,658	42,442
	補助金収入	554,153	482,615	622,017	582,295	540,993
	資産売却収入	0	0	0	0	0
	附属事業・収益事業収入	18,921	21,913	11,964	20,863	22,193
	受取利息・配当金収入	26,769	27,170	22,939	18,163	18,428
	雑収入	171,419	128,208	153,212	162,308	128,881
	借入金等収入	0	0	0	0	0
	前受金収入	363,540	382,560	329,677	285,707	274,628
	その他の収入	1,349,463	1,047,965	1,994,286	969,167	1,207,596
	資金収入調整勘定	△ 605,741	△ 534,507	△ 555,069	△ 497,164	△ 396,010
	資金収入計	4,137,262	3,817,471	4,741,120	3,598,954	3,670,362
	前年度繰越支払資金	774,090	789,522	760,525	752,151	640,351
合 計	4,911,352	4,606,993	5,501,645	4,351,105	4,310,712	
支 出 の 部	人件費支出	2,193,444	2,081,334	2,114,603	2,069,566	2,046,994
	教育研究経費支出	534,772	490,502	580,271	525,070	600,140
	管理経費支出	156,593	158,407	105,462	123,062	164,561
	借入金等利息支出	0	0	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0	0	0
	施設関係支出	125,637	171,406	129,096	94,872	39,648
	設備関係支出	55,311	67,635	33,808	34,198	48,487
	資産運用支出	205,024	73,547	1,022,530	131,217	264,632
	その他の支出	915,247	881,756	801,380	768,264	789,561
	資金支出調整勘定	△ 64,198	△ 78,120	△ 37,657	△ 35,495	△ 61,335
	資金支出計	4,121,830	3,846,468	4,749,494	3,710,754	3,892,688
	次年度繰越支払資金	789,522	760,525	752,151	640,351	418,024
合 計	4,911,352	4,606,993	5,501,645	4,351,105	4,310,712	



○ 事業活動収支の推移

(教育活動収支)

(単位：千円)

科 目	2018年度 (平成30)	2019年度 (令和1)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)
学 生 生 徒 等 納 付 金	2,184,939	2,078,598	2,085,612	1,982,524	1,804,966
手 数 料	31,706	33,337	26,376	25,433	26,244
寄 付 金	42,094	149,612	50,107	49,658	42,617
経 常 費 等 補 助 金	507,741	421,807	578,499	557,521	540,249
付 随 事 業 収 入	18,921	21,913	11,964	20,863	22,193
雑 収 入	213,592	128,297	154,421	213,583	124,494
教 育 活 動 収 入 計	2,998,992	2,833,564	2,906,979	2,849,583	2,560,763
人 件 費	2,205,211	2,071,783	2,159,478	2,063,232	2,079,528
教 育 研 究 経 費	685,515	641,376	739,059	689,716	768,195
うち、減価償却額	151,325	151,138	158,350	164,106	167,402
管 理 経 費	161,431	162,475	109,826	125,619	168,026
うち、減価償却額	4,776	4,678	5,017	5,110	4,965
徴収不能引当金繰入額	1,024	2,557	860	874	2,259
教 育 活 動 支 出 計	3,053,182	2,878,191	3,009,223	2,879,442	3,018,008

(教育活動外収支)

受 取 利 息 ・ 配 当 金	26,769	27,170	22,939	18,163	18,428
そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0	0	0	0	0
教 育 活 動 外 収 入 計	26,769	27,170	22,939	18,163	18,428
借 入 金 等 利 息	0	0	0	0	0
そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0	0	0	0	0
教 育 活 動 外 支 出 計	0	0	0	0	0

(特別収支)

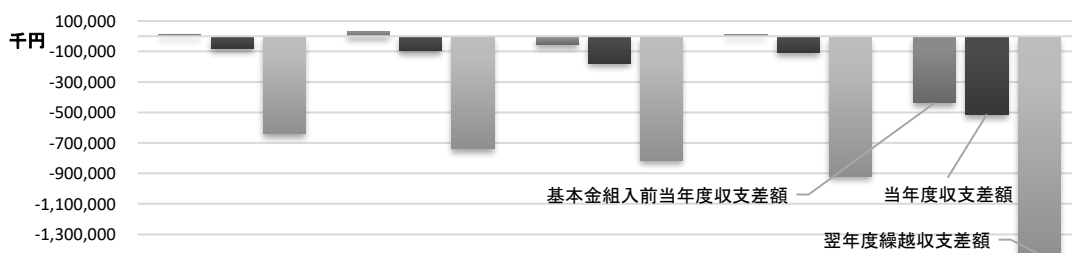
資 産 売 却 差 額	0	0	15,000	0	0
そ の 他 の 特 別 収 入	48,207	61,749	45,162	27,540	6,975
特 別 収 入 計	48,207	61,749	60,162	27,540	6,975
資 産 処 分 差 額	9,065	11,744	34,099	2,018	3,983
そ の 他 の 特 別 支 出	2,178	618	506	1,584	911
特 別 支 出 計	11,243	12,362	34,605	3,602	4,895

基本金組入前当年度収支差額	9,543	31,930	△ 53,747	12,241	△ 436,738
経常収支差額	△ 27,421	△ 17,457	△ 79,304	△ 11,696	△ 438,818
教育活動収支差額	△ 54,190	△ 44,627	△ 102,244	△ 29,859	△ 457,246
教育活動外収支差額	26,769	27,170	22,939	18,163	18,428
特別収支差額	36,964	49,387	25,557	23,938	2,080
基本金組入額合計	△ 89,194	△ 127,158	△ 122,257	△ 117,610	△ 75,192
当年度収支差額	△ 79,650	△ 95,229	△ 176,004	△ 105,368	△ 511,929
前年度繰越収支差額	△ 563,243	△ 641,211	△ 735,947	△ 813,689	△ 919,058
基本金取崩額	1,682	493	98,262	0	1,178
翌年度繰越収支差額	△ 641,211	△ 735,947	△ 813,689	△ 919,058	△ 1,429,809

(参考)

事 業 活 動 収 入 計	3,073,968	2,922,483	2,990,080	2,895,285	2,586,165
事 業 活 動 支 出 計	3,064,425	2,890,553	3,043,827	2,883,044	3,022,903

事業活動収支の推移(2018～2022年度)



	2018年度 (平成30)	2019年度 (令和1)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)
■ 基本金組入前当年度収支差額	9,543	31,930	△ 53,747	12,241	△ 436,738
■ 当年度収支差額	△ 79,650	△ 95,229	△ 176,004	△ 105,368	△ 511,929
■ 翌年度繰越収支差額	△ 641,211	△ 735,947	△ 813,689	△ 919,058	△ 1,429,809

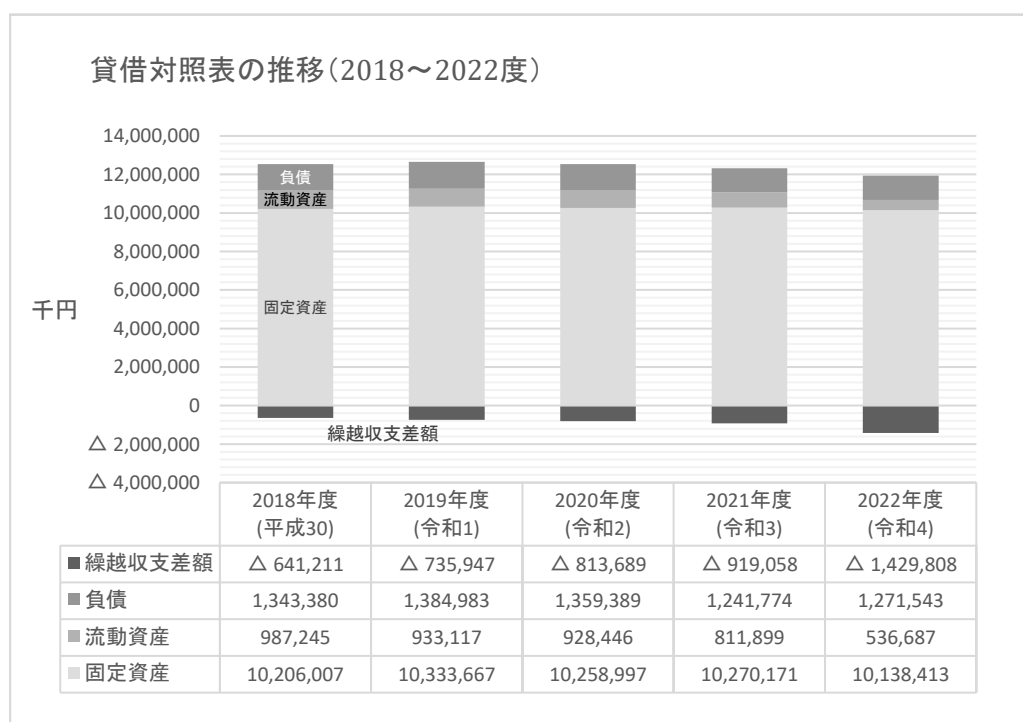
○ 貸借対照表の推移(学校法人)

(単位：千円)

資産の部					
科 目	2018年度 (平成30)	2019年度 (令和1)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)
固 定 資 産	10,206,007	10,333,667	10,258,997	10,270,171	10,138,413
有 形 固 定 資 産	5,259,862	5,331,771	5,325,596	5,284,152	5,196,604
特 定 資 産	4,913,010	4,968,131	4,896,265	4,950,146	4,896,654
そ の 他 の 固 定 資 産	33,135	33,765	37,135	35,873	45,155
流 動 資 産	987,245	933,117	928,446	811,899	536,687
合 計	11,193,252	11,266,785	11,187,443	11,082,070	10,675,101

負債・基本金及び繰越収支差額の部					
科 目	2018年度 (平成30)	2019年度 (令和1)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)
負 債	1,343,380	1,384,983	1,359,389	1,241,774	1,271,543
固 定 負 債	869,143	886,480	922,746	850,418	880,782
流 動 負 債	474,237	498,503	436,642	391,357	390,761
基 本 金	10,491,083	10,617,749	10,641,743	10,759,353	10,833,366
繰 越 収 支 差 額	△ 641,211	△ 735,947	△ 813,689	△ 919,058	△ 1,429,808
純 資 産 の 部 合 計	9,849,872	9,881,802	9,828,053	9,840,295	9,403,558
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	11,193,252	11,266,785	11,187,443	11,082,070	10,675,101

減価償却額の累計額の合計	4,810,622	4,895,613	5,000,281	5,144,812	5,293,285
基本金未組入額	32,587	67,212	62,721	51,330	50,327



主な財務比率等の推移

(1) 事業活動収支計算書関係比率

(単位:%)

分類	財務比率	算式	評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	△	0.3	1.1	-1.8	0.4	-16.9
		事業活動収入計						
収入構成は どうなっているか	学生生徒納付金比率	学生生徒納付金	△	72.2	72.7	71.2	69.1	70.0
		経常収入(※1)						
	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金	△	1.4	5.2	1.7	1.7	1.7
		経常収入						
	経常費補助金比率	経常費補助金	△	16.8	14.7	19.7	19.4	20.9
		経常収入						
支出構成は適切か	人件費比率	人件費	▼	72.9	72.4	73.7	71.9	80.6
		経常収入						
	教育研究経費比率	教育研究費	△	22.7	22.4	25.2	24.1	29.8
		経常収入						
	管理経費比率	管理経費	▼	5.3	5.7	3.7	4.4	6.5
		経常収入						
収入と支出の バランス	人件費依存率	人件費	▼	100.9	99.7	103.5	104.1	115.2
		学生生徒納付金						
	基本金組入後収支比率	事業活動支出	▼	102.7	103.4	106.1	103.8	120.4
		事業活動収入計-基本金組入額						

※1 経常収入=教育活動収入計+教育活動外収入計

(2) 貸借対照表関係比率の推移

分類	財務比率	算式	評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
自己資本は 充実しているか	純資産構成比率	純資産	△	88.0	87.7	87.8	88.8	88.1
		負債+純資産						
	基本金比率	基本金	△	99.7	99.4	99.4	99.5	99.5
		基本金要組入額						
資産構成は どうなっているか	流動資産構成比率	流動資産	△	8.8	8.3	8.3	7.3	5.0
負債に備える資産が 蓄積されているか	流動比率	流動資産	△	208.2	187.2	212.6	207.5	137.4
		流動負債						
負債の割合は どうか	負債比率	総負債	▼	13.6	14.0	13.8	12.6	13.5
将来の安全性	積立率	運用資産(※1)	△	97.1	96.2	93.8	91.5	84.3
		要積立額						

※1 運用資産=現金預金+特定資産+有価証券

※2 要積立額=減価償却累計額+退職給与引当金+第2号基本金+第3号基本金

評価基準 「△」:値は高い方が良い。「▼」:値は低い方が良い。